SONY

4-296-257-**04**(1)

パーソナルオーディオドッキングシステム

取扱説明書

RDP-NWX500B

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

* 4 2 9 6 2 5 7 0 4 * (1)

⚠警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

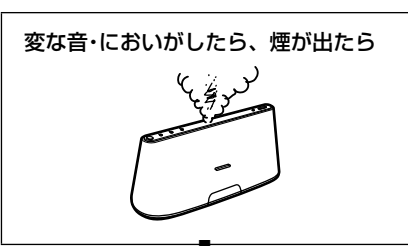
定期的に点検する

1年に1度は、ACアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. 電源を切る
2. ACアダプターをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意　火災　感電

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く　指示

⚠警告 ⚠火災 ⚠感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡や大けが**の原因となります。

指定以外のACアダプターを使わない

家庭用電源で使用するときは、必ず指定のACアダプターを使用してください。
破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

内部に水や異物を入れない 本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- ACアダプターを抜くときは、必ず電源コードのプラグ部を持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触れない

本機やACアダプターに触れると感電の原因となります。

接触禁止

ぬれた手でACアダプターにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

自然放熱を妨げない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となります。

禁止

ACアダプターは抜き差ししやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源を切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

指示

コード類は正しく配置する

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

分解禁止

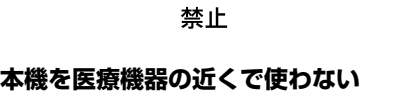
はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

禁止

本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

禁止

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

注意

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。

指示

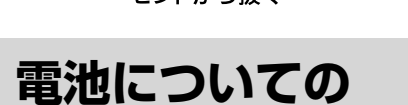
長時間使用しないときはACアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、ACアダプターを抜く

ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

ボタン型電池
リチウム電池 CR2025(リモコン用)

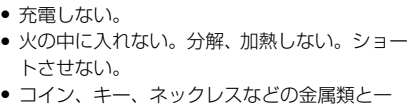
⚠危険

電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

電池を誤って交換すると爆発する危険があります。必ず同一タイプのものと交換してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて+と−を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところでは使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

機銘板は、本機の底面に表示してあります。

ACアダプターは「JIS C61000-3-2」適合品です。

*Bluetooth*機器について

機器認定について

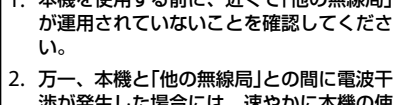
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項
本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. **本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。**
3. **不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書(裏面)をご覧ください。**

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

*Bluetooth*とそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所に置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
  - ほこりの多いところ。
  - テレビやプロジェクターのそば。
    ブラウン管タイプのテレビやプロジェクターの近くで使用する場合は充分に離してご使用ください。本機をこれらに近づけすぎると画面に色むらが生じる場合があります。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 本機の内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気が変化し、使えなくなることがあります。

設置場所についてのご注意

- 本機を大音量で再生すると、振動により設置場所によっては本機が移動することがあります。
  本機が振動により落下しないよう、設置場所にご注意ください。

ACアダプターについて

- コードを無理に曲げたり、上に重い物をのせたりしないでください。
- ACアダプターを抜く時は、必ず電源コードのプラグ部を持って抜いてください。
- 長い時間使わないときは、アダプターをコンセントから抜いてください。

*Bluetooth*無線技術について

Bluetooth®無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。
無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
*Bluetooth*標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

*Bluetooth*機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、*Bluetooth*機器の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記の*Bluetooth*バージョンとプロファイルに対応しています。

対応*Bluetooth*バージョン:
*Bluetooth*標準規格Ver. 2.1+EDR*1準拠
対応*Bluetooth*プロファイル:

- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile):高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP 1.3(Audio Video Remote Control Profile):再生、一時停止、停止など、AV機器を操作する。

*1 Enhanced Data Rate の略

通信有効範囲

見通し距離で約10m以内で使用してください。
以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。
－*Bluetooth*接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
－無線LANが構築されている場所
－電子レンジを使用中の周辺
－その他の電磁波が発生している場所

他機器からの影響

*Bluetooth*機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
－本機と携帯電話を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
－10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

*Bluetooth*機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および*Bluetooth* 機器の電源を切ってください。
－病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
－自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- *Bluetooth*機能を使うには、相手側*Bluetooth*機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。
  ただし、同じプロファイルに対応していても、*Bluetooth*機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- *Bluetooth*無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- 本機は、*Bluetooth*無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、*Bluetooth*標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。*Bluetooth*無線通信を行う際はご注意ください。
- *Bluetooth*技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機と接続する*Bluetooth* 機器は、Bluetooth SIG の定める*Bluetooth* 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、*Bluetooth* 標準規格に適合していても、*Bluetooth*機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 本機と接続する*Bluetooth*機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

故障とお考えになる前に

本機が正しく動作しないときは、下記の項目をチェックしてください。
それでも正しく動作しないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

共通

音が出ない

- 本機と再生機器の電源が入っているか確認する。
- VOLUME＋または－ボタン(リモコンの場合、VOL＋または－ボタン)で音量を調節する。
- 再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機と再生機器を正しく接続しているか確認する。

音が小さい

- 再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- VOLUME＋または－ボタン(リモコンの場合、VOL＋または－ボタン)で音量を調節する。

音がひずむ

- 再生機器の音量を音がひずまなくなるまで下げる。音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 再生機器のバスブースト機能を無効にする。
- 本機の音量を下げる。

音が割れる、またはノイズが出る

- 本機と再生機器を正しく接続しているか確認する。
- 再生機器をテレビに近すぎる所に設置していないか確認する。
- 外部機器を接続しない時は、AUDIO INジャックから接続ケーブルを取り外して下さい。

ラジオなどが受信できない。

- ラジオまたはワンセグチューナー内蔵機器を接続した場合、放送が受信できない、または感度が大きく低下することがあります。

雑音が入る。

- 携帯電話などを本機から離して使用する。

*Bluetooth*部

音が出ない

- 本機と*Bluetooth*機器の距離が離れすぎていないか、無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認する。
- 本機と*Bluetooth*機器を正しく*Bluetooth*接続しているか確認する。
- 本機と*Bluetooth*機器を再度ペアリングする。

音が途切れたり、通信距離が短い

- 無線LANや他の*Bluetooth*機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れてご使用ください。
- 本機と*Bluetooth*機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。
- 本機と*Bluetooth*機器をできるだけ近付ける。
- 本機の位置を変える。
- 接続相手の*Bluetooth*機器の位置を変える。

ペアリングできない

- 本機と*Bluetooth*機器をなるべく近付けてからペアリングを行う。

映像より音が遅れる

- ワンセグや動画を見ている場合、音が映像より遅れて聞こえる場合があります。

***Bluetooth*接続ができない**

- 相手側*Bluetooth*機器の電源が入っていて*Bluetooth*機能が有効になっていることを確認する。
- *Bluetooth*接続が切断されている。
  もう一度*Bluetooth*接続を開始する。

“ウォークマン”部

“ウォークマン”から音が出ない。

- “ウォークマン”がしっかり接続されているか確認する。
- “ウォークマン”ファンクションに切り換わっているか確認する。
- 対象機種の“ウォークマン”か確認する。

本機から“ウォークマン”の操作ができない。

- “ウォークマン”がしっかり接続されているか確認する。
- 操作によっては対応していないものがあります。その場合は“ウォークマン”本体で操作する。
- リモコンのBACK、OPTION、HOMEボタンに対応していない“ウォークマン”があります。
  対応する“ウォークマン”は、NW-S760/S760BT/S760K シリーズです。(2011 年10月現在)
  その他の機種には対応していません。

“ウォークマン”の充電ができない。

- “ウォークマン”がしっかり接続されているか確認する。

AUDIO IN部

音が出ない。

- オーディオケーブルがしっかり接続されているか確認する。
- AUDIO INファンクションに切り換わっているか確認する。
- 相手機器が再生状態になっているか確認する。

音量が小さい。

- 本機と接続している外部機器の音量を確認する。

リモコン部

リモコンが動作しない。

- リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。
- リモコン受光部が正しく受信できる方向にリモコンを向けているか確認する。
- リモコン受光部をふさがない。
- 直射日光や蛍光灯などの強い光が当たる場所にリモコン受光部をさらさない。
- リモコンは、本機のなるべく近くで使用する。

主な仕様

“ウォークマン”部

出力	DC 5 V
最大	500 mA

一般

スピーカー	サテライトスピーカー: 4.8 cm、8 Ω サブウーファー: 9.0 cm、4 Ω
入力	AUDIO IN端子(直径3.5 mm ステレオミニジャック)
出力	15 W＋15 W＋30 W(全高調波歪10 %以下)(JEITA*1)
電源	外部電源端子 定格DC IN 19.5 V 家庭用電源(AC 100 V、50 Hz/60 Hz)
最大外形寸法	約401 mm × 176 mm × 160 mm (幅×高さ×奥行き、最大突起部含む)(JEITA *1)
質量	約3.15 kg

***Bluetooth*部**

通信方式	*Bluetooth*標準規格Ver. 2.1+EDR*2
出力	*Bluetooth*標準規格Power Class 2
最大通信距離	見通し距離約10 m*3
使用周波数帯域	2.4 GHz 帯(2.4000 GHz ～ 2.4835 GHz)
変調方式	FHSS
対応*Bluetooth*プロファイル*4	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)、AVRCP 1.3(Audio Video Remote Control Profile)
対応コーデック*5	SBC*6
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
伝送帯域(A2DP)	20 Hz ～ 20,000 Hz (44.1 kHz サンプリング時)

付属品

ACアダプター(1)
電源コード(1)*7
リモコン(リチウム電池入り)(1)
取扱説明書(本書)(1)
スタートアップガイド(1)
保証書(1)
製品登録のおすすめ(1)
本機の使用上の注意事項(1)
ソニーご相談窓口のご案内(1)

*1 JEITA (電子情報技術産業協会) 規格による測定値です。
*2 Enhanced Data Rate の略
*3 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*4 *Bluetooth* プロファイルとは、*Bluetooth* 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。
*5 音声圧縮変換方式のこと
*6 Subband Codec の略
*7 付属の電源コードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

裏面へつづく

VOLUME + と ►II ボタンに凸部(突起)がついています。

こんなことができます

本機は、*Bluetooth*無線技術を利用したワイヤレス"ウォークマン"ドックです。

- "ウォークマン"接続対応WM-PORT 搭載。
- "ウォークマン"を接続して、室内で音楽を楽しむことができます。
- *Bluetooth*搭載"ウォークマン"など*の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。
- 周囲の電波の影響による音切れが発生しにくい*Bluetooth*標準規格Ver.2.1＋EDR採用。
- 外部機器からの音声入力機能。
- 実効出力60Wのハイパワーデジタルアンプにより、高音質かつ大迫力のサウンドを再現します。

* 接続する *Bluetooth* 機器が、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応している必要があります。

電源を準備する

電源管理システム

"ウォークマン"(またはAUDIO INジャックに接続された機器、*Bluetooth*接続された機器)の再生が停止してから約20分間何も操作しないと、本機の電源は自動的に切れます。

ACアダプターを接続する

付属のACアダプターを本機背面のDC IN 19.5Vジャックにしっかり差し込んだあと、コンセントに差し込む。

ACアダプターに関するご注意

この製品には、付属のACアダプターをご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

"ウォークマン"を本機で充電するには

ACアダプターをコンセントにつなぎ、本機に"ウォークマン"を接続してください。
充電が自動的に開始します。充電の状態は"ウォークマン"本体に表示されます。詳しくは、お使いの"ウォークマン"の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

ACアダプターを本機とコンセントに接続しているときは、"ウォークマン"の電源が入っている場合、または入っていない場合にも充電されます。

本機の電源を入／切する

I/⏻(電源)ボタンを押す。
電源が入るとI/⏻(電源)ランプ(緑色)が点灯します。
本機またはリモコン操作受信時にリアクションランプが点滅します。

"ウォークマン"を聞く

本機に対応する"ウォークマン"

WM-PORT(22 ピン)搭載"ウォークマン"でご利用できます。
WM-PORTは、"ウォークマン"とアクセサリーを接続する専用マルチ端子です。
本機の対応機種について詳しくは、下記のホームページまたは"ウォークマン"、カタログをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/walkman-support/

S シリーズ	NW-S760 シリーズ	NW-S766/S765/S764
	NW-S760K シリーズ	NW-S765K/S764K
	NW-S760BT シリーズ	NW-S764BT
	NW-S750 シリーズ	NW-S756/S755/S754
	NW-S750K シリーズ	NW-S755K/S754K
	NW-S740 シリーズ	NW-S746/S745/S744
	NW-S740K シリーズ	NW-S745K/S744K
	NW-S730F シリーズ	NW-S739F/S738F/S736F
	NW-S730FK シリーズ	NW-S738FK/S736FK
	NW-S640 シリーズ	NW-S645/S644
	NW-S640K シリーズ	NW-S645K/S644K
	NW-S630F シリーズ	NW-S639F/S638F/S636F
	NW-S630FK シリーズ	NW-S638FK/S636FK
A シリーズ	NW-A860 シリーズ	NW-A867/A866/A865
	NW-A850 シリーズ	NW-A857/A856/A855
	NW-A840 シリーズ	NW-A847/A846/A845
	NW-A820 シリーズ	NW-A829/A828
E シリーズ	NW-E050 シリーズ	NW-E053/E052/E053K/E052K
X シリーズ	NW-X1000 シリーズ	NW-X1060/ X1050

* 2011 年 10 月現在

ご注意

- 本機は"ウォークマン"の音声再生機能にのみ対応しています。
- "ウォークマン"は電源を入れないと動作しません。操作する前に"ウォークマン"の電源を入れてください。
- "ウォークマン"の接続および取りはずし時は、本機をしっかり押さえてください。
- "ウォークマン"を接続したまま本機を持ち運ばないでください。
- 対応以外の"ウォークマン"を本機に接続しないでください。本機で対応していない"ウォークマン"を使用した際の動作は保証しておりません。
- ソニーは本機に接続した"ウォークマン"に記録されたデータの破壊や損失について、責任を負いません。
- 対応している"ウォークマン"でも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- 一部の地域では販売されていない"ウォークマン"もあります。

ドッキングトレーに"ウォークマン"を装着する

1. **本機正面にあるドッキングトレーを押し、引き出す。**
2. **"ウォークマン"をドックコネクタに装着する。**
   WM-PORT端子の角度に沿って差し込んでください。

   ご注意
   - 安定した接続を確保するために、"ウォークマン"のケースやカバーをはずして装着してください。

再生する

1. **I/⏻(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。**
   I/⏻(電源)ランプが点灯します。
2. **WALKMANボタンを押す。**
   WALKMANランプが点灯し、ファンクションが切り換わります。
3. **►II (再生／一時停止)(またはリモコンの►II)ボタンを押す、または"ウォークマン"を操作して、再生を開始する。**

   ご注意
   - "ウォークマン"の状態によっては、本機やリモコンの ►II (再生／一時停止) ボタンがはたらきません。その場合は、"ウォークマン"を操作して再生してください。
4. **VOLUME +/–(またはリモコンのVOL +/–)ボタンを押して、音量を調節する。**

"ウォークマン"を再生／一時停止する

►II (再生／一時停止)ボタンを押す。

ちょっと一言

最大または最小音量時にVOLUME +/–(またはリモコンのVOL +/–)ボタンを押すと、リアクションランプが3回点滅します。
リアクションランプが3回点滅することで、これ以上音量が大きく(または小さく)なりません。

ドッキングトレーを閉じる

1. **"ウォークマン"をドックコネクタから取りはずす。取りはずす場合、ドック部をしっかり手で押さえて、両手で取りはずす。**

2. **本機正面にあるドッキングトレーを、ロックがかかるまで押す。**

ご注意

- 安定した接続を確保するために、"ウォークマン"のケースやカバーをはずしてドックコネクタに装着してください。
- "ウォークマン"の装着および取りはずし時は、本機のドックコネクタと同じ角度で"ウォークマン"を抜き差ししてください。"ウォークマン"を前後に倒して無理に取りはずそうとするとドックコネクタが破損する恐れがあります。
- "ウォークマン"を取りはずす前に再生を一時停止してください。
- お使いの"ウォークマン"によっては、"ウォークマン"の起動時にスピーカーからノイズが出ることがありますが故障ではありません。
- ご使用の"ウォークマン"によっては、ダイナミックノーマライザ、イコライザ、VPT、DSEE、スピーカー出力最適化などがオンまたは調整されている場合がありますので、オフにしてください。
- "ウォークマン"接続中は、"ウォークマン"のヘッドホンからは音は出ません。
- ラジオまたはTVチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオやTV放送の受信が出来なかったり、感度が大幅に低下する場合があります。

リモコンを使う

初めて付属のリモコンをお使いになるときは、絶縁フィルムを取り除いてください。
本機正面のリモコン受光部に付属のリモコンを向けてください。
リモコンからの受信時には、リアクションランプが点滅します。

VOL + と ►II ボタンに凸部(突起)がついています。

I/⏻(電源)ボタン
- 電源を入／切する。電源が入るとI/⏻ランプ(緑色)が点灯する。

►II (再生／一時停止)ボタン
- "ウォークマン"を再生する。または再生中の"ウォークマン"を一時停止する。
- メニューを決定する。*

➡ (早送り)ボタン
- 次の曲へ進む。
- 曲を聞きながら、聞きたい部分が見つかるまでボタンを押したままにする。
- 一時停止中に"ウォークマン"の表示窓の再生時間を見ながら、聞きたい部分が見つかるまでボタンを押したままにする。
- メニュー項目を選ぶ。*

⬅ (早戻し)ボタン
- 前の曲に戻る。再生中にこの操作を行うと現在再生中の曲の頭に戻る。前の曲に戻るには、ボタンを2回押す。
- 曲を聞きながら、聞きたい部分が見つかるまでボタンを押したままにする。
- 一時停止中に"ウォークマン"の表示窓の再生時間を見ながら、聞きたい部分が見つかるまでボタンを押したままにする。
- メニュー項目を選ぶ。*

⬆ (アップ)/⬇ (ダウン)ボタン
- 次／前のフォルダー(曲のまとまり)の頭出しをする。
- メニュー項目を選ぶ。*

WALKMANボタン
- "ウォークマン"を選択する。

AUDIO INボタン
- AUDIO INジャックに接続した機器を選択する。

BLUETOOTHボタン
- *Bluetooth*接続した機器を選択する。

BACKボタン*
- "ウォークマン"の表示窓でリスト画面の階層を上がったり、前の画面に戻ったりする。

OPTIONボタン*
- "ウォークマン"の表示窓にオプションメニューを表示する。

HOMEボタン*
- ホームメニューに戻る。

VOL(音量)＋/－ボタン
- 音量を調節する。

* 対応する"ウォークマン"は、NW-S760/S760BT/S760K シリーズです。(2011 年 10 月現在)
その他の機種には対応していません。

ご注意

お使いの"ウォークマン"によっては、リモコンのBACK、HOME、OPTIONボタンでの操作はできません。

リチウム電池を交換するときは

リモコンに入っているリチウム電池は、通常の使用では約6ヶ月持続します。電池が消耗すると、リモコンは正常に作動しなくなったり、リモコンの動作距離が短くなったりします。そのようなときは、新しいソニー製リチウム電池CR2025と交換してください。

＋側を上にして入れる

電池に関する警告

- 長い間ご使用にならないときは電池を取り出してください。過度の放電や液もれを防ぎます。

リチウム電池に関するご注意

- 使いきった電池はすぐに廃棄してください。電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、電池を乾いた布でよく拭いてください。
- 電池を入れるときは＋と－を確かめてください。
- ピンセットなどの金属類と電池を一緒に携帯·保管しないでください。電池の＋と－が金属類とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 直射日光や火の近くなど、温度の高いところに電池を置かないでください。

⚠警告

電池の+と–の向きをまちがえて入れると破裂する恐れがあります。
内蔵の電池と同一タイプの電池をお使いください。

*Bluetooth*接続で使う

*Bluetooth*接続により、*Bluetooth*搭載"ウォークマン"などで再生する音楽をワイヤレスで楽しめます。
対応機種は以下の通りです。(2011年10月現在)

S シリーズ	NW-S760 シリーズ	NW-S766/S765/S764
	NW-S760K シリーズ	NW-S765K/S764K
	NW-S760BT シリーズ	NW-S764BT
A シリーズ	NW-A860 シリーズ	NW-A867/A866/A865
	NW-A820 シリーズ	NW-A829/A828

ご注意

*Bluetooth*の接続手順は、NW-S760シリーズ、NW-A860シリーズが例になっています。
その他の*Bluetooth*機器と接続する場合は、お使いの*Bluetooth*機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ペアリングとは

*Bluetooth*機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 10台以上の機器をペアリングしようとしたとき。
  本機は9台までの機器をペアリングすることができます。9台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、9台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手の機器から、本機との接続履歴が削除されたとき。
- 本機を初期化したとき。
  すべてのペアリング情報が消去されます。

本機のランプ表示について

状態	BLUETOOTH ランプ(青色)	I/⏻ ランプ(緑色)
ペアリング中	速く点滅	点灯
Bluetooth 待ち受け中(電源オン時)	点滅	点灯
Bluetooth 待ち受け中(*Bluetooth* スタンバイ時)	ゆっくり点滅	消灯
Bluetooth 接続中	点灯	点灯

ペアリングする

接続例

1. **本機のBLUETOOTHボタンを2秒以上押し続ける。**
   本機のBLUETOOTHランプ(青色)が速く点滅し始めたらボタンを離してください。本機がペアリングモードになります。

   ご注意
   - 本機のペアリングモードは、約 5 分で解除されます。手順が完了する前に本機のペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順 1 から操作を行ってください。
   - 本機にペアリング情報が登録されていない場合、BLUETOOTH ファンクションに切り替えると自動的にペアリングモードになります。
     その場合は、ペアリングモードは解除されません。
2. ***Bluetooth*搭載"ウォークマン"側のホームメニューから(*Bluetooth*)を選択する。**

3. **「機器登録(ペアリング)」を選択する。**

4. **「周辺機器検索」の画面が表示されます。**
   検出した機器の一覧が*Bluetooth*搭載"ウォークマン"の画面に表示されます。本機は「RDP-NWX500B」と表示されます。
   「RDP-NWX500B」と画面に表示されない場合は、もう一度手順1から操作を行ってください。

   ご注意
   - ペアリングするときは、両方の *Bluetooth* 機器を、1 m 以内に置いてください。
   - 機器によっては検出した機器の一覧を表示できない場合があります。
5. ***Bluetooth*搭載"ウォークマン"の画面に表示されている「RDP-NWX500B」を選択する。**
6. ***Bluetooth*搭載"ウォークマン"から*Bluetooth*接続操作を行う。**
   お使いの機器によっては、ペアリングが完了すると自動的に*Bluetooth*接続を開始する場合があります。
   正しく接続できると、*Bluetooth*ランプ(青色)が点灯し、ペアリング情報が本機に記録されます。

ご注意

- *Bluetooth* 接続が完了する前に本機または *Bluetooth* 搭載"ウォークマン"の電源を切った場合、ペアリング情報が記録されず、ペアリングが完了しません。
- 相手側 *Bluetooth* 機器によっては、パスキー * の入力を要求されない場合があります。お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 検出した機器の一覧を表示できない *Bluetooth* 搭載"ウォークマン"や画面がない機器とペアリングするときは本機と *Bluetooth* 搭載"ウォークマン"の両方をペアリングモードにすることでペアリングできる場合があります。詳しくは、お使いの *Bluetooth* 搭載"ウォークマン"に付属の取扱説明書をご覧ください。
- *Bluetooth* 接続中に、ドックに接続された"ウォークマン"の操作はできません。
- 本機のパスキーは「0000」に固定されています。パスキーが「0000」ではない *Bluetooth* 機器とペアリングすることはできません。
- 本機の音量操作で送信側 *Bluetooth* 機器の音量を調節することはできません。
- 以下の場合、もう一度 *Bluetooth* 接続をする必要があります。
  - 本機の電源が切れている。
  - *Bluetooth* 搭載"ウォークマン"の電源が切れている、または *Bluetooth* 機能が無効になっている。
  - *Bluetooth* 接続が切断されている。

* パスキーは、パスコード、PIN コード、PIN ナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ちょっと一言

- 複数の*Bluetooth*機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順1～6を繰り返してください。
- 接続履歴がない場合の初期設定は、ペアリングモードになります。

*Bluetooth*接続で音楽を聞く

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。

- 相手側の*Bluetooth*搭載"ウォークマン"の*Bluetooth*機能が有効になっている。
- 本機と相手側の*Bluetooth*搭載"ウォークマン"のペアリングが完了している。
- 本機のBLUETOOTHファンクションに切り換えている。

1. **相手側の*Bluetooth*搭載"ウォークマン"から本機へ、*Bluetooth*接続を開始する。**
   正しく接続できるとBLUETOOTHランプ(青色)が点灯します。
2. **リモコンまたは"ウォークマン"を操作して、再生を開始する。**

   ご注意
   *Bluetooth*機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると音がひずむことがあります。
3. **音量を調節する。**
   "ウォークマン"を適度な音量にして、VOLUME +/–(またはリモコンのVOL +/–)ボタンで調節する。

*Bluetooth*接続を切断するには

以下の手順のいずれかで*Bluetooth*接続を切断してください。

－*Bluetooth*搭載"ウォークマン"を操作して接続を切断する。詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
－*Bluetooth*搭載"ウォークマン"の電源を切る。
－本機の電源を切る。

*Bluetooth*スタンバイについて

電源が入っていない状態でも、*Bluetooth*接続待ち状態にすることができます。
設定を有効にするには、本体のBLUETOOTHボタンを押しながら、本体のI/⏻(電源)ボタンを押します。2つのボタンを2秒以上押します。
相手側から*Bluetooth*接続操作を行うことで、本体の電源がオンになり、*Bluetooth*接続で音声を聞くことができます。
ペアリング履歴が残っていない場合、待受けしません。

スタンバイモードを解除するには

本体電源がオンになったとき、もう一度本体のBLUETOOTHボタンと本体のI/⏻(電源)ボタンを同時に2秒間押す。

別売りの外部機器をつなぐ

携帯デジタルミュージックプレーヤーなどの外部機器を本機に接続して、スピーカーから流れる音を楽しむことができます。接続する前にすべての機器の電源を切ってください。

1. **本機背面のAUDIO INジャックと外部機器をオーディオケーブル(別売り)でしっかり接続する。**
2. **I/⏻(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。**
   I/⏻(電源)ランプが点灯します。
3. **本機に接続した外部機器の電源を入れる。**
4. **AUDIO INボタンを押す。**
5. **外部機器を操作して再生する。**
   本機のスピーカーから音が流れます。
6. **音量を調節する。**
   外部機器を適切な音量にし、本機のVOLUME +/–(またはリモコンのVOL +/–)ボタンを押して調節します。

ご注意

- 使用するオーディオケーブルは、外部機器によって異なります。接続する外部機器に適したケーブルを使用してください。
- 音量が小さい場合はまず外部機器の音量調節をしてください。それでも小さい場合には本機の音量を調節してください。
- ラジオまたはTVチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオやTV放送の受信が出来なかったり、感度が大幅に低下する場合があります。

本機を初期化する

本機をお買い上げ時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1. **I/⏻(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。**
2. **ドックコネクタから"ウォークマン"を取りはずす。**
3. **VOLUME－を長押ししながらI/⏻(電源)ボタンを押す。2つのボタンを5秒以上押す。**
   初期化した後、I/⏻(電源)ランプが2秒点滅します。

商標

- "ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話·PHS·一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話·PHS·一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書·リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1